



井本商運株式会社

住所：〒650-0035 神戸市中央区浪花町 59 番地
神戸朝日ビルディング 22 階
電話：078-322-1600

プレスリリース カテゴリー: [セレモニー]

2016 年 8 月 3 日発信

報道関係者各位

釜石港国際フィーダーコンテナ定期航路開設 5 周年記念セレモニー開催

2016 年 8 月 1 日、釜石港において「釜石港国際フィーダーコンテナ定期航路開設 5 周年記念セレモニー」(主催:釜石市・釜石港湾振興協議会)が開催された。井本商運は、大手外航船社のオリエント・オーバーシーズ・コンテナ・ライン・リミテッド社(以下 00CL 社)と共に主賓として列席して航路開設 5 周年を祝い、今後も海上物流の面から更なる東北の物流に貢献すると共に、地域経済発展に寄与することを確認し合った。



井本商運は、2006 年(平成 18 年)12 月に釜石港に初寄港した。寄港当初は、貨物量が不安定なため不定期寄港を余儀なくされた。2011 年(平成 23 年)3 月の東日本大震災によって港湾機能は深刻な被害を受け、海上物流もストップした。釜石港ではコンテナ荷役設備の早期の復旧を果たし、井本商運は 2011 年(平成 23 年)7 月に外航船社 00CL 社と連携し、週 1 便の定期航路として再開、釜石港と国際コンテナ戦略港湾である京浜港を結ぶ国際フィーダー航路をいち早く再開した。これにより、東北の物流網が混乱する中、周辺荷主の海上輸送モードが確保される事となった。また、2015 年 3 月には釜石の復興事業として 5 ヶ月間にわたって、釜石港/八戸港間の建設発生土のコンテナ輸送を行ない、東日本大震災の復興に貢献した。

釜石港須賀地区公共ふ頭で、朝 10 時から開催された当セレモニーには、当社の井本社長や 00CL 日本支社の藤江代表を初めとして、国交省、岩手県、釜石市などの行政関係者や、三菱製紙、日鉄住金物流、白金運輸など、荷主・物流業界から約 70 名の参加者が列席した。

当社の運航する 749GT 型内航コンテナ船「いくた」の着岸する岸壁で、くす玉開花や荷役見学会が行われた後、市内のホテルに場所を移して、懇談会が開催され、記念セレモニーを終えた。

井本商運は今後も国際フィーダー輸送を軸に釜石港での取り扱い増量を図り、船の大型化や増便の可能性を検討している。

<会社概要>

資本金 : 95 百万円

本社 : 神戸市

事業内容 : 内航海運業

社長 : 井本隆之

設立 : 1973 年(昭和 48 年)

売上 : 88 億円(2015 年度)

<本件に関するお問い合わせは、運航部 沢までお願いします。>

TEL : 078-322-1615 FAX : 078-322-1610 E-mail : sawa@imotoline.co.jp